



2025
年度

「役員研修会」を開催！

コンセプトは「つながり・広がり・深掘」をテーマに
労福協運動の活性化と次世代への継承

2025年9月9日(火)、「ワークピア広島」において、役員、地区労福協、福祉事業団体からWebでの参加も含め総勢51名が参加して「役員研修会」を開催しました。久光会長が主催者を代表して挨拶を行った後、講演に入りました。



挨拶する久光会長

最後に、特別講演として、連合総合生活開発研究所の理事長である神津里季生氏を講師として迎え、「労福協運動への想いと期待値」と題した講演をいただきました。神津講師は冒頭「ニーバーの祈り」という言葉を紹介し、「変える勇気と変えてはならない忍耐」この両者を識別する知恵がいかに大切なことであるかということを前提に国や社会の現状と課題を聴講者と共有しながら労福協運動を展開する我々への熱い「エール」を送って頂いた講演となりました。



連合総研 神津氏



中国労働金庫 尾崎氏

講演1では、中国労働金庫 経営統括部経営企画課長の尾崎章雄氏より、「当面の金利見通しと金利上昇が与える影響について」と題した講演をいただきました。講演では、金利決定の仕組みや金融機関の現況、私たちの生活に与える影響などをわかりやすく解説いただきました。

続く講演2では、こくみん共済coop 広島推進本部事業推進部 部長の丸山海氏から、「地震から命を守る行動について」と題した講演をいただきました。



こくみん共済coop 丸山氏

毎年大きな災害に見舞われている私たちにとって、防災の心構えと発災直後や避難生活にかかる具体的な対応方法を教授いただきました。



関連団体専用ページにて公開



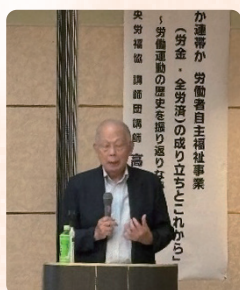
西部労福協

理念・歴史・リーダー養成講座開催！

目的：「労働運動・労働者福祉運動が果たしてきた役割を認識・理解し、21世紀社会に対応しうる新しい労働者福祉運動の構築に向けて、労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史の伝承者（講師・リーダー）として、職場・地域で労働者福祉運動の新たな創造を担うリーダー（若手組合員・職員）の育成を図る。

2025年8月8日(金)～9日(土)、西部労福協「第10期労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」が岡山市「ピュアリティまきび」で開催され、中四国から36名、広島からは3名が参加しました。

主催者を代表して、西部労福協の森本会長から挨拶を受けた後、講義に入りました。



1日目の講義1では、中央労福協 講師団講師の高橋均氏より、「“競争か連帯か” 労働者自主福祉事業（労金・全労済）の成り立ちとこれから」と題した講義を受けました。

講演の中で高橋講師は、労働組合と労金・全労済の関係は「ともに運動する主体」であることを強調されました。



講義2では、中央労福協の事務局長 南部美智代氏より、「労福協運動のこれまでとこれから～つなげる寄り添う 支え合う～」と題した講演をいただきました。



2日目は、徳島県労福協の専務理事 梶本 一夫氏をファシリテーターとして、1日目の講義1・2を受講したことを受けて、4グループに分かれて分散会で意見交換を行い、各グループの代表者が若手らしい発想や決意を発表しました。



最後に、受講者全員に修了証が授与され研修会は終了しました。

時代変化に伴い、労福協や福祉事業団体創設の歴史や理念の継承が希薄になっており、次世代へ引き継ぐ人材育成が大きな課題となっています。

参加した受講生のみなさんは、それぞれ立場は違いますが、互いに協力し合って労働者自主福祉運動を実践されることを期待します。



中央労福協 「第5回地方労福協会議」 開催！

2025年9月25日(木)、中央労福協の「第5回地方労福協会議」がWeb開催されました。

林副会長の挨拶で始まった会議の第1部では、竹内事務局次長から2025全国福祉強化キャンペーンの意思統一に向けたWebアンケートの結果について状況説明がありました。また、持続可能な労福協運動の展開に向けた取り組みとしてこれまでの課題とその課題解決に向けて会議体の充実を目的として、会議の運営方法や幹事会の「幹事」メンバーのあり方など意見交換を行いました。あわせて、2026～2027年度活動方針（素案）についても提起があり意見交換が行われました。

第2部では、「食の支援」に関する意見交換が開催されました。ここでは各地方の労福協が食

の支援をどのように進めてきたのか、中央労福協が行った事前調査をもとに進捗状況を確認しました。また、事例報告として加盟労組のネットワークを活かした「フード連合」の「『食』を大切にする運動」の取り組み、休眠預金活用事業などの協力により冷蔵・冷凍食品の確保、フローズンネットワークが拡大中の神奈川県労福協の「フードバンク」の取り組み報告や、県内で献身的に食支援に取り組んでいる方々を有機的に結びつけようと活動している高知県労福協から「食支援の取り組みと今後の課題」をテーマに組織で取り組んでいる事例が報告されました。



地区労福協だより

【福山地区労福協】「こども食堂開催」

福山地区労福協では労働会館みやび4階チャペルにおいて8月3日(日)、6日(水)、17日(日)、20日(水)の4日間、各12時～15時（食事提供は12時～13時30分）にこども食堂を開催しました。

今年度地区で開催されたメーデーにおいて地区労福協は連合広島および各地協と協力の上、フードドライブを実施して「食の支援」に一步踏み出しました。その善意で集まった食料品を「フードバンク」実施団体に寄贈していますが、その団体との懇談において食の支援と言えども「現金」の必要性や支援対象者のニーズ（子供が多ければお菓子など）や「居場所」の必要性など様々な課題があることに直面、福山地区労福協として何ができるのか検討を重ねた結果「こども食堂」をやってみようということになりました。

地区の労働組合や福祉事業団体などの理解と協力のもと、8月の4日間児童生徒の夏休みということもあり、家族連れや近隣のご老人方など多くのご来場をいただき「食の支援」とともに「こどもたちの居場所づくり」にも一役買うことが出来たと考えます。



- 来場者：毎回100人超
- スタッフ：毎回18～20人
- メニュー：カレーライス・かき氷
- 漫画・工作キット・ボードゲーム等設置
- 映画上映などのアトラクション



来場者アンケートより

**大多数の来場者が「満足」
定期的・継続的な開催を希望！**

中央労福協「高等教育費負担軽減 Web セミナー」開講のご案内

「すべての人が学べる社会へ 高等教育費負担軽減プロジェクト」は、2025年10月から2026年3月までの間、計6回にわたって「高等教育費負担軽減 Web セミナー」を開講します。

このWebセミナーでは、高等教育費の家庭負担が限界に近づいている状況をふまえ、高等教育費について「社会全体で支える」ものであるという共通認識を形成することをめざして、学習を深めます。ぜひ、本セミナーにご参加ください！

1. 概要

(1) 講座名称

高等教育費負担軽減webセミナー

(2) テーマ

高すぎる教育費いつまで自己負担？～学びは社会が支える時代へ。
家族の「困った」を、社会が「支える」へ

(3) プログラム

回数・時間：全6回2025年10月～2026年3月 平日19時00分～19時40分

2. 内容

イントロダクション（5分）／講演（35分）（各回の講師と講演内容「チラシ」を参照）

3. 開催方法

オンライン開催（Zoom のウェビナー）

4. 受講料

無料

5. 申し込み

「すべての人が学べる社会へ 高等教育費負担軽減プロジェクト」Webサイトに開設するフォームから登録→ <https://www.rpjt.jp/p2024/keigen-seminar/index.html>

※登録した方には当日参加の有無にかかわらず全員に見逃し配信をします。



「高すぎる教育費いつまで自己負担？」
学びは社会が支える時代へ。

家族の「困った」を、社会が「支える」へ
高等教育費負担軽減webセミナー

高等教育費の家庭負担は限界に近づいている状況です。このセミナーは「家族の困ったを、社会が支えるへ」をテーマに、高等教育費を「個人の責任」ではなく「社会全体で支える」という意識改革を目指します。

回数・時間 全6回 2025年10月～2026年3月 平日19時～19時40分(19時) |
内容 イントロダクション(5分)／講演(35分)
各回の講師と講演内容は裏面をご覧ください
開催方式 オンライン開催 (Zoomのウェビナー)
全て見逃し配信しますので途中からの受講も大歓迎
受講料 無料

お申し込みはコチラから
check! 募集の締め、参加申し込み、お問い合わせについてはWEBサイトに掲載ください。
※ 全ての人が学べる社会へ 高等教育費負担軽減プロジェクト

日本は、高等教育への公的支出がOECD諸国と比べて低い一方で、「高等教育費は家庭が負担すべき」という考え方が根強く残っています。このセミナーでは、「家族の「困った」を、社会が「支える」へ」をテーマに、高等教育費の負担を「個人の自己責任」ではなく「社会全体で支える」という意識改革を目指します。知識の習得だけでなく、参加者の皆様が学びを活かし、新たな連携やつながりを生み出すことを期待しています。

セミナーの目的

日本では親の高等教育費の負担割合が著しく増えています。近年、公的負担による軽減効果が相次いで導入されました。3つの教育費負担軽減のモデルを提示し、国際比較の観点から、日本の教育費負担の現状と課題点を検討し、将来の展望を示します。

プログラム

- 国際比較に見る日本の親負担主義の重さ**
講師：小林雅之さん (筑波大学教育学部教授)
開催：2025年10月28日 (火) 19:00-19:40
- 高等教育費における親負担・家族負担主義を考える**
講師：大内裕和さん (筑波大学教授)
開催：2025年11月25日 (火) 19:00-19:40
- 借主と家族を苦しめる貸与奨学金の負担**
講師：若重佳治さん (弁護士)
開催：2025年12月18日 (木) 19:00-19:40
- 貧困の連鎖を断ち切るために**
講師：志田由美子さん (国政研究センター客員教授)
開催：2026年1月20日 (火) 19:00-19:40
- 現在の全国の学生の学費負担に反対の取組**
講師：金澤裕さん (東京大学准教授)
開催：2026年2月17日 (火) 19:00-19:40
- 大学を「会社」から「社会」に戻す**
講師：矢野真和さん (東京工業大学名誉教授)
開催：2026年3月12日 (木) 19:00-19:40



ろうきんからのお知らせ

中国労働金庫上期営業推進状況について

2025年度上期（4月～9月）の推進状況は以下のとおりです。

預金は、会員のみなさまのご協力により順調に推移しています。上期に退職金の獲得、とことん定期S＜スペシャル＞の発売、“預けてロッキーチャンス summer” 夏季一時金の取組みにより計画を大幅超過していますが、預金の流出は続いており予断を許さない状況です。10月から“預けてロッキーチャンス Winter” 年末一時金の取組みが開始していますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

【中国労金】

	年間計画	実績	達成率
預 金 増 加 額	5,000百万円	11,316百万円	100. 5%
融 資 増 加 額	5,046百万円	23,419百万円	102. 1%

【広島県】

	年間計画	実績	達成率
預 金 増 加 額	1,870百万円	5,691百万円	100. 7%
融 資 増 加 額	2,541百万円	9,240百万円	102. 1%

↓ 中部エリア融資の内訳

	年間計画	実績	達成率
有担保証書貸付新規実行額	20,480百万円	17,611百万円	86. 0%
無担保証書貸付新規実行額	8,087百万円	4,929百万円	60. 9%
カードローン増加額	567百万円	257百万円	45. 3%

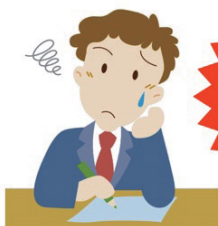
こんなことで 悩んでいませんか？

数社で借りてるけど、返済が厳しいなあ…

カードの返済日がきたけどお金がないよ…

取立てが怖いから、またどこかで借りなきゃ

もう、いくら借りてるか分からないよ…

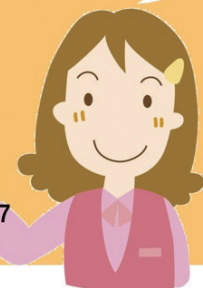


毎日不安で眠れない。仕事も手につかない。誰かに相談したいけど…

多重債務の ご相談は ろうきんへ

ひとりで悩まないで、ろうきんにご相談ください。多重債務に陥ってしまった場合の解決方法について、アドバイスさせていただきます。生活再建に向けて、一緒に考えていきましょう。

早めにろうきんへ
ご相談ください。



中国労働金庫
多重債務相談ダイヤル
フリーダイヤル 0120-89-3787



こくみん共済 coop からのお知らせ

こくみん共済 NEWS

3425W003



公式キャラクターピットくん

2025年度 国際協同組合年（IYC2025）について

2025年は国際協同組合年となります。こくみん共済coopは共済事業を行う生活協同組合として、「防災・減災活動」「環境保全活動」「子どもの健全育成活動」などの活動を通じてSDGsに貢献していきます。

Q1.「国際協同組合年とは？」

協同組合の社会的意義を世界規模で広めるために国連が2012年に定めた記念年であり、世界的に金融危機や貧困問題が続く中で、協同組合が、持続可能な開発『雇用創出』『貧困削減』に貢献している点に注目し、協同組合の役割と重要性を広く世界にアピールする事を目的としています。

Q2.「2025国際協同組合年「IYC2025」とは？」

2025国際協同組合年 HP <https://www.japan.coop/iy2025/>

2023年11月3日、国連総会は2025年を「国際協同組合年」(International Year of Co-operatives 略称：IYC) とすることを宣言し、テーマ「協同組合はよりよい世界を築きます」“Cooperatives Build a Better World” を決めました。

国連が協同組合を重視するのは、協同組合が、その事業や活動を通じて、女性、若者、高齢者、障がい者を含むあらゆる人々の経済社会開発への参加を促し、貧困の根絶、雇用の創出、社会とのつながりの強化に貢献するとともに、**持続可能な開発等**に貢献できる**企業体・社会的事業体であると評価している**からです。

国連はIYC2025を通じて、次の取り組みを講じるよう各国政府や関係機関に要請しています。

- ①持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けた協同組合の実践、社会や経済の発展への協同組合の貢献に対する認知を高める！
- ②協同組合の発展を支援し、協同組合を振興する！

こくみん共済 coop の取り組み事例の紹介



①共済を通じた社会課題への取り組み

みんなで被災地応援プロジェクト（見積もり1件＝100円の寄付）

住まいる共済見積もり件数（'24年6～11月）は全国で92,613件となり、被災地での復旧活動をおこなう団体へ9,261,300円の寄付を行いました。

【寄付の内訳】

令和6年能登半島地震復興支援助成	2,000,000円
日本赤十字社活動資金	3,630,650円
全国社会福祉協議会	3,630,650円
合計	9,261,300円

②地域課題解決にむけた共創の取り組み

全国各地での地域の社会活動

全国各地で、防災・減災のイベントを開催しています。広島推進本部では2025年5月24日・25日に「子育て応援団 すこやか2025」にイベントブースを出展し、防災・減災クイズや消防車クラフトのイベントを行いました。



「子育て応援団 すこやか2025」
こくみん共済 coop 広島推進本部
当日のイベントブースの様子

こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

（広島県労働者共済生活協同組合）

「こくみん共済 coop」は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。



公式キャラクターピットくん・ピットくんファミリー



(一社)広島県労働会館からのお知らせ



高校生のための消費者講座2025 開催開始

(一社)広島県労働会館では、県内の高校生を対象にした消費者教育講座を毎年開催しています。

本講座は、高校卒業後に社会へと踏み出す若者たちが、自ら正しい判断を下せる消費者となるための金融基礎知識を身につけることを目的とし、中国労働金庫 中部エリア営業部との共催で実施されています。

今年度は、**9月25日 広島県立賀茂高等学校**での開催を皮切りにスタートしました。

講座では以下のような内容を中心に、今後の生活に役立つ知識を提供しました。

講座内容

- 卒業後のライフプラン設計
- 奨学金制度の仕組みと注意点
- 金融機関の役割と基本的な仕組み
- 金利・利息の基礎知識
- キャッシュレス決済やスマホ分割払いの仕組み
- 金融犯罪・闇バイトなどの身近なトラブルへの対処法

今回の講師は、中国労働金庫 西条支店の横山光輝さん。



スライドによる説明に加え、ご自身の体験談を交えながら、生徒への問いかけを通じて考える時間を設けるなど、参加型の講義が展開されました。

生徒の様子

参加した3年生280名は、真剣な表情でスライドや配布資料に目を通し、メモを取りながら講師の話に熱心に耳を傾けていました。

講座終了後には、「知らなかったことが多くて驚いた」「卒業後に役立ちそう」といった声も聞かれ、実りある学びの時間となりました。



📍 280名の高校生を前にした講義の様子



🗣️ 講義終了後の生徒代表による挨拶の様子

2025 年末預金運動実施中!

一時金は、
ろうきんへ。

中国労働金庫が良質な
商品やサービス等を提供できるのは、
みなさまからの大切な預金のおかげです。

とことん懸きたい、あなたの思い
中国ろうきん
(2025年10月1日現在)

フィッシング詐欺などの
金融犯罪にご注意ください!

くわしくは(ろうきん)ホームページでご確認ください



ろうきん
イメージモデル
森川 菜
(まきかわ れな)

お住まいの
地盤診断サービス

無料

登録
不要



地震の揺れ・液状化・浸水の
可能性など、すぐわかる

こくみん共済 coop NEWS

こくみん共済 coop
公式キャラクター ビットくん

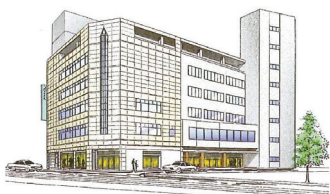


たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

一般社団法人 広島県労働会館

ワークピア 広島 事業部
ユニオントラベル広島



★気になる情報は右の
QRコードからチェック!



<フロント部門>

大小さまざまな会場をご用意!
会議・セミナー・宴会・パーティー等
シーンに合わせた会場をご用意可能です。

<旅行部門>

国内・海外旅行 バスレク(日帰り・宿泊)
組合イベント、周年行事の手配、
研修旅行、出張手配、家族・職場旅行など

詳しい内容・ご相談等
お気軽にお問合せください。

みやび 事業部

少人数から300名まで
人数にあわせて会場をご利用可能です。



街で噂の牛すじ黒カレー

540円(税込)

中辛
1人前 200g レトルトカレー

〒721-8588
広島県福山市南蔵王町4-5-18
TEL: 084-925-3800
URL <https://r-miyabi.or.jp/>



〒732-0825 広島市南区金屋町1-17
TEL 082-261-8131
受付時間 9:00~19:00(日曜・祝日は17:00まで)

FAX 082-263-3489
E-mail info@workpier.jp
URL <https://www.workpier.jp>